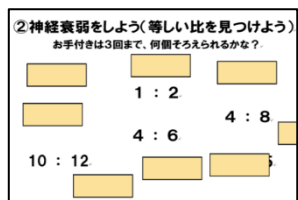


1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	勝央町立勝間田小学校	実践者名	大久保 仁志
教科等	算数（少人数）	学年	第6学年
		Stage	Stage 2
育成したい 資質・能力	学習に前向きに取り組む【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをもつことができる【思考力・判断力・表現力等】		
単元・内容等	「比とその利用」 等しい比の性質を理解し、それを用いて比を簡単にすることができる。		
児童生徒の実態 （端末活用頻度等）	昨年度から Jamboard を活用しての話し合い活動やタイピング、プロゲルなどさまざまなことでタブレット端末を活用している。算数が苦手な子が多く、自力で考えることが難しい児童もいる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
1 神経衰弱ゲームをしながら前時のふり返りをする。 （1）Jamboard で等しい比（同じ数字）のカードを見つけさせる。 （2）神経衰弱で等しい比（違う数字）のカードを見つけさせる。 （3）40：50 と 120：150 が等しい比であることを確認する。 （4）比の値について復習する。			
2 簡単に等しい比を見つける方法を知る。 ・ 40：50 と 120：150 が比の値以外にも等しい比であるといえる方法を考える。 ・ 比を図にして考えさせるーどちらも3倍している。			
3 本時のめあてを確認する。			
めあて：等しい比を簡単にを見つける方法を使って、等しい比を見つけよう。			
4 等しい比を見つけてペアを作る。 ・ 比の値や等しい比の関係を使って、等しい比を見つけさせる。 ・ $a \div b$ をして、比の値を見つける。・ $\bigcirc$ 倍になっているかを見つける。 ・ 等しい比を Jamboard でペアにまとめさせる。			
5 近くに人と等しい比を確認する。 ・ 見つけた等しい比をタブレットやノートを見せながら話し合わせる。			
6 全体で等しい比を確認する。			
7 比を簡単にする方法を知る。			
まとめ：$a:b$ の両方の数に、同じ数をかけたり、割ったりしてできる比は、全て $a:b$ と等しくなる。			
8. 練習問題とまとめをする。			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
Jamboard をワークシート兼デジタル教科書風にして活用することで、児童一人一人が意欲的に、自分で考えようとすることができた。また、板書には大事なものをだけを残しておくことで整理でき、児童の考えは、Jamboard に残るのでよかった。		（児童の感想から） 「Jamboard のヒントを見ながら考えることができた。」「友だちの考えをたくさん聞けて、自分の考えと同じだったからよかった。」「比を簡単にする方法が分かった。」「Jamboard にそれぞれが記入することで、意欲的に自分で考えようとすることができていた。」	